



MIHARUKASU

みはるかす

(※校歌の一節。遠くを見通す。・・未来を見つめる。)

豊見城中学校 NEXT STEPS
次の段階へ
・気づき 考え 実行する豊中生
・基本を徹底
・小さいことほど丁寧に
・当たり前のことほど真剣

○豊見城中学校学校教育目標 「自律、協働、創造し 未来を築く生徒」

【12/25 2学期前半終了集会】

12月25日(木)、「2学期前半の学校生活を振り返り、2学期後半に向けての目標を持たせる。」ことをねらいに2学期前半終了集会を開催しました。集会では生徒を代表して新生徒会長の崎山美羽さん(2年生)があいさつをしました。

崎山美羽:「～(略)～2学期前半も終わり、冬休みに入ります。みなさんはこの2学期前半の期間、有意義に過ごすことができましたか？私は生徒会選挙に挑戦し、みなさんのお陰で会長になることができました。副会長の時は会長や先輩の指示で動くことが多かったのですが、今は会長としてみんなに指示を出すことで自分自身の視野も広がりました。生徒会長として今まで以上にあいさつ、礼儀を意識し、自分の言葉に責任を持つようにしており、自律の面の成長に繋がりました。そして、協働の面では修学旅行の演芸大会に向けクラスで一生懸命練習をし、全力で盛り上げることができました。一人一人が踊りたいものを踊れるようなグループ分けをしたり、苦手な人のために構成を考えたり、学活の時間や隙間時間を活用するなど、練習の中で協働が見られる場面がありました。また、ホテルという慣れない環境でも、班で時間を決めて行動したり、マナーを守ったりと協力して過ごし、協働の面で成長したと思います。創造の面では先日行われた豊中フェスタで、出演者や見ている人全員が楽しむためにはどうすれば良いのか、プログラム作りなど構成にすごく悩みました。ですが、恒例のバンドや未成年の主張など先輩方から受け継いだ伝統は残しながら、1,000人ビンゴなどを行いまーつ新たな豊中フェスタを作ることができました。とても盛り上がりましたね。先生方や専門委員会の皆さんご協力ありがとうございました。「既成概念にとらわれず、新しいアイデアや価値を生み出す」創造、これはとても難しいことだと実感しましたが、豊中フェスタを企画する上ですごく成長した面でもあります。最後に、2学期前半も終わり、今の学年でいられる時間も残り約3ヶ月となります。3年生は自分自身の選んだ進路に向け、1、2年生は最後のテストに向けてこの冬休みの過ごし方をしっかり考え、2026年も自律・協働・創造する豊中生を目指しましょう。」

【12/27 第51回島尻地区中学校 新人バスケットボール競技大会】

○男子：準優勝 女子：4位



【1/6 2学期後半スタート】

あけまして おめでとうございます。2026年、令和8年が始まりました。学校は、生徒たちの元気な声と笑顔が戻りいつもの活気ある2学期後半を迎えることができました。昨年同様、今年も本校教育活動へのご理解とご協力を宜しくお願い致します。



【2026(令和8)年1月4日 朝日】

2学期後半開始集会では、生徒を代表して大城絢平さん(3年生)が頼もしい新年の抱負を述べてくれました。

大城絢平:「～(略)～皆さんにとって昨年の2025年はどんな1年でしたか。僕にとって昨年は様々な行事に挑戦する機会が多く、そこで成功と失敗を何度もくり返し改めて自分自身の未熟さを痛感した1年となりました。皆さんの中で、自分の思い通りの1年を送ることができた人はいるでしょうか。恐らくですがそのような人は少ないと思います。それでも、自分がどれだけ後悔しても、時間は止まってくれません。目標に挑める時間は平等に与えられていて、その事実抗っているひまなどありません。大切なのは、「忙しくて時間がない」という考え方ではなく、「時間をつくろうとする意識が低い」「本気で努力しようとする気持ちが足りない」といった考え方を持つことではないでしょうか。そのような考え方を持って、それぞれのやるべき事に取り組むことが大切なのではないでしょうか。1年生はまもなく入学する新1年生を後輩として迎え入れる準備を、2年生は最上級生としての自覚を持ち、豊中を引っ張っていく責任を持つこと、そして3年生は受検当日に自分の能力を最大限に引き出すための準備をしなくてはなりません。これまでに培ってきた、自分自身で考え行動する自律、仲間と協力する協働、未来への想いを構築する創造の考えを基に更なる飛躍へとつながられるように、一つひとつの時間を大切にしていきたいと思います。そして、この場の全員が最高だと思える結果を出せるようにしましょう。」

